駒ケ根民報

№1272
2012,6.10
日本共産党
駒ヶ根市委員会
TEL　83-2969

市議会全員協議会にて　活発な質疑が交わされる

13の協議事項

6月議会に先立ち、市議会全員協議会が開催され13議案の協議事項に対して理事者報告と質疑が交わされました。

協議事項

・駒ケ根市開発公社の経営状況
・駒ケ根市土地開発公社の〃
・エコーシティー駒ヶ岳の〃
・駒ケ根市給食財団の　〃
・駒ケ根市文化財団の　〃
・駒ケ根観光開発（株）〃
・駒ケ根高原温泉開発（株）〃
・駒ケ根市消防団機関等

再配置計画（案）

・第4次総合計画の策定方針
・市民満足度調査結果について
・地籍調査事業について
・経塚保育園用地取得について
・上伊那消防広域化協議会について。

消防団の機関再配置

駒ケ根市消防団の条例に定める定数は、600名

サラリーマン団員の増加（93%）、平均年齢の上昇（30歳）など年々団員数の確保が難しい状態になっており、機関再編の検討見直しも視野に入れて、各分団が抱えている課題を示し方向性が提案されました。

入団に向けた積極的な取り組みが必要

女性団員の更なる介入を含め、全市的な消防団の応援体制が不可欠な時代に入りました。

市は現在の600名体制を堅持し分団毎の見直しを3年毎に行うとしながらもこの体制を堅持していくには大変です。地区・事業所への更なる協力と、消防団装備の充実による機能強化、広報・介入活動とともに、特定の活動・役割のみを担う団員制度の導入も検討される様、期待が寄せられます。

分団	区域	人員	現状　課題	方向性
第1	南割・中割・北割1・2区	127名	新興住宅増加で人口増加	人口増加地域機関配置を検討・1-3号の移転配置、老朽化分団ｾﾝﾀｰの改築など
第2	小町屋・福岡・市場割・吉瀬	124名	住宅増加が著しい地域の機関配置、分団部の再編成	団員数の増加を図る。分団ｾﾝﾀｰの増築、2-2号の移転配置など検討
第3	下平・町1～4区・上穂町区	127名	所轄区域で居住人口減少団員確保の困難	3-2号ﾎﾟﾝﾌﾟ車・3-4号積載車配置換え、将来5機関配置へ。学区で部編成見直し
第4	中沢区全域（吉瀬除く）	130名	中山間地広範地区・将来人口予測から団員確保困難。	機関維持は9→6機関に見直し4-6号と4-7号統合。部編成3部制→2部制に
第5	東伊那全域	83名	将来人口予測から団員確保が厳しい	1機関減（ﾎﾟﾝﾌﾟ車1、小型2）とし、5-3号と5-2号機関統合。部再編成検討。

経塚保育園　用地の取得

市内の公立保育園・幼稚園は老朽化施設が多く、その中で経塚保育園は園舎の老朽化が最も著しく、園児や職員の安全確保のためにも早急な改築が求められていました。市側からは、この程、改築にともなう用地取得の提案がされました。

◆用地取得の概要

・住所：駒ケ根市経塚15712~5
・所有者：ヤマツル（株）
　現在更地
・実測面積：約1777坪
・取得予定価格：7500万円
　街づくり交付金事業
・取得方法：駒ケ根市土地開発公社による代行取得
・整備計画：
　定員120名（現在と同じ）
〈園舎〉・未満児室・保育6室
　遊戯室・一時預り室・調理室
　その他（トイレ・相談室など）
〈プール〉、〈庭園〉、〈駐車場〉

◆子育て拠点施設として

市内点在の子育て交流支援室を経塚に併設し、保育園と連携を保ちながら子育て支援の拠点施設として整備を図る

・子育て支援室・きっずらんど・病後児保育

◆現在の経塚保育園跡地利用

次の跡地利用が考えられる

・公共施設用地（防犯広場など）
・民間へ売却　（宅地分譲など）
・都市計画道路代替地

住宅リフォーム助成制度（支援事業）実施

駒ケ根市は昨年7月にも実施した景気の刺激策として、再度住宅リフォーム等緊急支援事業を実施したいとして市議会定例会に上程する計画です。公表での制度内容は

◇規模：2000万円
　（一般会計補正予算）
・30万円以上の工事に、一律10万円を補助（昨年同様）
◇対象工事
・市内個人住宅の省エネ改修
・バリアフリー改修
・耐震補強　・下水道接続
◇制約：
・昨年度の補助金交付者は対象とならない
・工事業者は市内に事業所がある個人事業主、・市内に本店などがある法人
◇時期：8月1日～来年3月末

以前から制度の実現　再開に向けて奮闘

共産党はこの間、一貫して制度の実現に向けて、昨年3月議会の坂本裕彦議員の制度実現質問や、9月議会では竹村ほまれ議員が制度の再開と予算化の実施を迫る質問を繰り返して来ました。この度再開される目処ですが、景気を継続し使い安くするには、単発や対象工事の制約が多くてはダメです。継続に向けて今後も努力します。